

英語論文セミナー

講師 小野 義正 氏

（理化学研究所 創発物性科学研究センター）



研究者の研究力向上支援の一環として、多くの大学でセミナー実績がある人気講師の小野義正先生をお招きします。

::: 講師プロフィール :::

小野 義正 氏

1977年、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（超伝導・超流動理論）後、イリノイ大学物理学科、ケースウェスタンリザーブ大学物理学科でポストドクを経験。

1982年（株）日立製作所日立研究所入社。プリンタ、ディスプレイの研究開発を経て、企画室主任研究員、国際交流室長を歴任。

この間、英語論文・英語口頭発表の添削・指導に携わる。

その後、日立製作所基礎研究所、研究開発本部、東京大学大学院工学系研究科において、科学・技術英語教育を担当。

2014年より現在まで、理化学研究所創発物性科学研究センターにて、研究及び英語論文執筆指導に携わる。

『ポイントで学ぶ科学英語論文の書き方（改訂版）』（2016年、丸善）等、著作・編集多数。

<日時>

令和2年1月24日（金）10:30～17:00

- ・ 午前 10:30～12:00
- ・ 午後 13:00～16:10
- ・ 査読者対策 Q&A セッション 16:15～17:00

※査読者対策は、個別対応（先着3名程度）となります。

<会場>

- ① 水戸キャンパス 理学部インタビュースタジオ
- ② 日立キャンパス（VCS配信）工学部 E1棟第2・3会議室
- ③ 阿見キャンパス（VCS配信）農学部 事務棟第1会議室
- ④ 東海サテライトキャンパス（VCS配信）C204 講義室

<対象> 本学教職員・大学院生・学部生

<定員> 50名

※参加希望の方は事前にお申し込みください。

会場を追加
しました！

内容：科学英語論文の書き方セミナー 応用編

1. 論文査読報告（英文が悪い）：理由と対策
2. 読みやすい英語（論文）を書く、論文用英文の組み立て
3. 日本人英文の脱却ポイント
4. 効率のよい論文執筆の進め方
5. よい英語論文の書き方
6. 英語論文執筆の基本的な注意
7. 英語論文の構成（IMRAD方式）
8. 英語論文の構成項目と書き方
 - ① 表題 ② 著者と所属 ③ 抄録
 - ④ 略語の使用法 ⑤ 序論
 - ⑥ 本論 ⑦ 結果 ⑧ 考察
 - ⑨ 結論 ⑩ 謝辞 ⑪ 引用文献
 - ⑫ 図と表
9. 日本人に多い間違いを直す
10. 不定詞と動名詞の使い方
11. 論文投稿と査読者対策
12. 参考書

補遺 英語辞書の使い方



小野義正先生からの メッセージ

ご要望が多い「論文投稿と査読者対策」について、通常より時間をかけて45分の講義を行います。また、査読者対策の質疑応答をセミナー後のQ&Aセッションで個別対応します。

<申込方法>

下記 QR コード、または[申込フォーム](#)より、**1月10日（金）**までにお申し込みください。



<お問い合わせ先>

ダイバーシティ推進室

◇ <https://www.ibaraki.ac.jp/diversity/>

✉ diversity_office@ml.ibaraki.ac.jp

☎ 029-228-8237（担当 長谷川）